

- カラー大会報道 第84回全国高等学校選手権大会……[4]
 カラー大会報道 第33回全国ホープス大会……[10]
 カラー大会報道 第38回全国レディース大会……[12]
 カラー大会速報 第43回全国中学校大会……[16]
 大会報道 第84回全国高等学校選手権大会……[18]
 大会報道 第33回全国ホープス大会……[26]
 大会報道 第33回全国レディース大会……[28]
 大会報道 第48回全国高等学校定時制通信制大会……[30]
 日本の肖像 坂井一也(ガンホー・オンライン・エンターテイメント取締役)……[32]
 連載「指南」 植木大(遊学館高校 男子監督)……[34]
 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……[36]
 ジャンプアップセミナー 河野正和(前男子JNT監督)……[38]
 トレーニングFF 田中礼人(男子NT専任コーチ)……[40]
 ラージボール技術 藤本武司(ニッタク)……[42]
 海外情報 ワールドホープス、香港卓球場、アジア・ヨーロッパ・他……[57]
 訪問レポート その田卓研(兵庫県・三田市)……[58]
 カラーテクニック紹介 カット講座 藤ノ谷直子(ニッタク契約コーチ)……[62]
 中国ラバー紹介 なぜキョウヒョウNEO3を使うのか「馬龍」……[64]
 頑張ろう東日本第52弾 第22回名取市ホープス大会……[66]
 ラージボールを愛する人たち……[68]
 第5チャンネル……[44]
 ビンボン東西南北……[45]
 各地レポート……[46]
 各地ラージボール大会……[54]
 みんなのコーナー……[56]
 編集室……[56]
 ニッタク講習会……[67]

Message

夏。高校野球「甲子園」の話題を良く目にします。その時「左打ち、右投げの弊害」という記事を読みました。

今の高校球児は、メジャーリーグで活躍するイチロー、松井秀喜を見て、育った選手が多く、右利きの選手も矯正(強制?)され「左打ち」になっているそうです。

記事を読んでいくと、弊害として「ボールはバットに当たるが、微妙なコントロールが利き腕と差が出る」や「利き腕がキャッチャー側にあった方がボールの伸びが違う」と書かれ、最終的に「右打ち、右投げの大砲が育たない」とまで書かれていました。

以前ある指導者に「左利きにさせられてしまった選手は、伸びに限界がある。足の使い方、細かいブレに、どうしても差が出てしまう。また、偏平足の選手も王者になりづらい。指導者としては、こういうことも知っておく必要があるよ」と言われました。

歴代の男子五輪日本代表を見ても「右利きシェークハンド裏・裏」は、一人。野球界同様、生粋の「右利きシェークハンド裏・裏」というスタイルが卓球界の発展を担っている可能性が。こういう観点から卓球を観察するのも面白い、と感じたと同時に、改めて卓球の「奥の深さ」を知りました。(温)



表紙
第84回全国高等学校選手権大会
男子複優勝・準優勝
木道典人(愛工大名電)
撮影：高野亮